

gooddays

Vol. **34**

around **KANDA NISHIKI - CHO**
New Culture & Alternative Lifestyle

2023 AUTUMN ISSUE
PRICE 0 YEN



神田で過ごす、芸術の秋

TEXT • Taichi Ueda / Monami cho
PHOTO • Yuta Suzuki

厳しい暑さの夏が過ぎ去り、神田にも秋がやってきます。

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋。秋は楽しみが満載。多種多様な文化が交錯する神田にとっても、まちがより一層活気づく特別な季節です。

今回のgooddaysが提案するのは神田で体験

する「芸術の秋」。東京名物の神田古本祭りに加えて、今年は、5年振りの「竹尾ペーパーショウ」が初めて神田で開催されます。毎回、紙に魅了されたデザイナーさんや学生さんを中心に多くの人が集まり熱気のある展示会なので、今回はどんな展示になるのか、楽しみで仕方ないですね。

もちろんイベントだけでなく、続々と登場する、「芸術」を体感できる新スポットもたっぷり紹介します。宿泊施設やサウナとアートを掛け合わせるユニークな動きに要注目。過ごしやすい季節は神田のまちへと繰り出して、充分に五感を刺激し、好奇心と感性を磨いてみてはいかがでしょうか。



神田錦町、think coffee店内のポスター。コーヒー産業のSDGsを“think”するよう促すアート。

ショッピングやグルメを楽しめる、新旧入り混じった神田錦町界隈。毎号テーマに沿って、こだわりのある人にインタビュー。神田のヒト・モノ・コトに出会える情報チャンネルです。

竹尾 見本帖本店

神田錦町を拠点に、100年以上続く紙の専門商社「竹尾」のショールーム兼ショップ。ファインペーパーのカラーバリエーション約2700種類を揃える。実際に手にとって色や質感を確かめながら購入することができます。



竹尾 見本帖本店
東京都千代田区神田錦町3-18-3
03-3292-3631
11:00-18:00 土日祝休
<https://www.takeo.co.jp/>



紙の魅力を伝え続ける老舗専門商社

デザイナーや美大生の御用達で、紙が好きな人にとっては聖地のような場所が、神田錦町に店を構える「竹尾 見本帖本店」です。ガラス張りの真っ白な空間はどこか近未来的で、什器に綺麗に陳列されたカラフルな紙の存在感が際立ち、瞬く間に紙の世界に惹きこまれます。「私たちが扱っている紙は国内外合わせて約9,000種類。銘柄によって色味や質感が全然違う。同じ青でも紙次第で無数の青がある。ここには自分の好きな紙を探す楽しさがありますよ」と、企画部の相田さんが案内してくれました。そんな紙の伝道師である「竹尾」が、1965年から主催している紙の大規模な展示会が「竹尾ペーパーショー」。今年の10月に5年振りに、初めて地元神田錦町を会場にして開催されます。

今回のテーマは「PACKAGING—機能と笑い」。原研哉さんを企画・構成に迎えてパッケージという営みを「機能」と「笑い」の二つの視点から展示。「機能」では、13組のクリエイターが紙の可能性を探求し、近未来の実用レベルの容器と包装を提案。「笑い」では、パッケージの持つ、思わず手に取らせる「笑い」の力に注目し、キュレーターの梅原真さんが約100点の商品をセレクトします。「機能と笑い、両方の展示を見てもらうことで紙の魅力と可能性を迫力とともに感じてもらえると思います。ようやく5年ぶりの開催となるので、ずっと楽しみにしてくれていた学生さんや地元の神田の人たちにも来てもらえたら嬉しいですね」→展示会詳細はP12へ



「アラベール-FS」

相田さんが好きだという「アラベール-FS」。高い印刷適性と発色性を保ちながら、柔らかな風合いを失わず、ナチュラルで気品のある印刷表現が可能なのだそう。



2022年12月に「BOOK HOTEL 神保町」の12階に開業した、2部屋のみ
のサウナ付き個室型ホテル。2019年に神田で開業したコンセプトカプセル
ホテル「MANGA ART HOTEL, TOKYO」の姉妹施設として誕生しました。



1日中好きな漫画とアートの世界に没頭

古本屋が軒を連ねる神保町の靖国通りに面する「BOOK HOTEL 神保町」の12階に、その夢のような空間があります。誰にも邪魔されることなく1日中好きな漫画とアートの世界に没頭し、時折五感を整えるべくプライベートサウナに入る。漫画好きにしても、サウナ好きにしても、これ以上ない理想郷といえるホテルなのではないでしょうか？

白と黒の2色で構成される漫画の世界を表現するかのように、「白い洞窟」と「黒い洞窟」というコンセプトでデザインされた2部屋。案内していたのは「白い洞窟」。洞穴の中にベッドが組み立てられ、その周囲を取り囲むように漫画が陳列。まさに利用者の「籠りたい」欲求を見事に満たす空間設計です。

漫画ソムリエたちが厳選した約50冊の漫画のラインナップも興味深いものばかり。アートの視点で選書された旅や温泉をテーマにした作品や、サウナを題材にした漫画が並んでいます。「漫画のセレクトにはとてもこだわっていて。なるべく、あまりまだ世の中に知られていない漫画を読んでほしいなど。この場所での滞在をきっかけに、漫画との新鮮な出会いを届けたいので」と、スタッフの奈良さんは話します。サウナで充分整った後に、リラックス状態で漫画を読んでみたり、読書の途中でうたた寝してみたり、書架の階段に座って気分を変えてみたり。みなさんもぜひ思う存分、漫画とサウナの贅沢な1日を体験してみてくださいはいかがでしょうか。



「北北西に曇と往け」
奈良さんがおすすめしてくれたのが、こちらの漫画。両親を亡くした17歳の探偵を営む青年、慧が主人公。MANGA ART ROOM, JIMBOCHOなら作品に没頭しながら読むことができます。



MANGA ART ROOM, JIMBOCHO
東京都千代田区神田神保町2-5-13
BOOK HOTEL 神保町12階
03-6380-8228 <https://mangaarhotel.com/mari/>

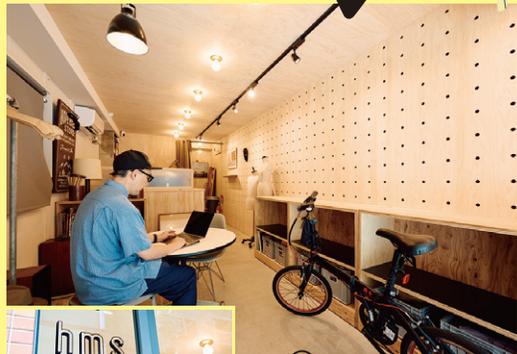
KANDA Walking



竹尾 見本帖本店
 東京都千代田区神田錦町3-18-3
 03-3292-3631
 11:00-18:00 土日祝休
<https://www.takeo.co.jp/>

1

竹尾ペーパーショウについてはP12へ!



2

hms VINTAGE / ART / GALLERY / FASHION
 東京都千代田区神田小川町3-11-4 1F
https://www.instagram.com/hms_tokyo_

通常は事務所スペースだが、期間限定でギャラリーへと変わる空間。これまで、ビンテージブランケットやイラストレーター、ミュージシャンのビンテージコレクションの展示や、1998年に特化したものを集めた企画などを実施。シンプルだけど木の温もりを感じられるスペースは、どんなジャンルにもびったり合いうさそう。今後もギャラリーのように活用していくそう。ここにしかないレアなものに出会えるかも?

Guide

Jimba cha
la
Nishiki cho

編集部が歩いて回れるおすすめ神田ルートをご紹介します。今号はアート、音楽、コーヒー、秋の神田錦町、神保町で楽しめるスポットをご紹介します。ぜひgooddaysを片手に散歩してみてください。



MANGA ART ROOM, JIMBOCHO
 東京都千代田区神田神保町2-5-13
 BOOK HOTEL 神保町12階
 03-6380-8228
<https://mangaarhotel.com/mari/>

4

3

ESPテクニカルハウス
 東京都千代田区神田錦町1-14-2
 03-3233-3477 10:30-19:30
<https://espguitars.com.jp/technicalhouse/>

楽器メーカーESP直営のショップ。直営店としては最も歴史が古く、経験豊富なスタッフがいため、アマチュア・プロ問わず厚い信頼が置かれている。プロのイメージがあるオーダーメイドだがそんなことはなく、自分の持っている楽器をこだわりにあわせて手を入れてみたり、見た目を選んでから自分好みにカスタマイズしたり。芸術の秋だからこそ、好きを追求してみてもは、気軽に相談してみよう。



コーヒーとアートを楽しもう



Pharos Coffee
 東京都千代田区神田神保町1-25-4 11:00-18:00 水休
<https://www.pharoscoffee.com/ja/>

2022年11月にオープンした、台北からやってきた自家焙煎のコーヒーが特徴のカフェ。ギャラリーを持つ台北の店舗の雰囲気と呼応するよう、店舗の3分の1を展示スペースに。台湾アーティストの作品を展示したり、ブランドのポップアップを行ったりと、多様性豊かなコンテンツを発信していくそう。



think coffee
 東京都千代田区神田錦町2-9-15 神田SDGsコネクション1F
 平日8:00-22:00 (L.O. 21:30)、土日祝8:00-21:00 (L.O. 20:30) 不定休
<https://thinkcoffee.jp/>

2023年6月にオープンした、ニューヨーク発のカフェ。サステナビリティにこだわる美味しいコーヒーはもちろん、ベーグルやピーガンズスイーツなど、食事も充実している。また2階には難民の方が描いた個性豊かでカラフルなアート作品を展示。コーヒーとともにアートを楽しんで。

The WILLOW

神田ばとんりれえ

共立女子大学
家政学部

KANDA BUTTON RELAY
...第11回...

神保町のメンズ専門美容室の
常連さんが働く、
神保町の大学



店長

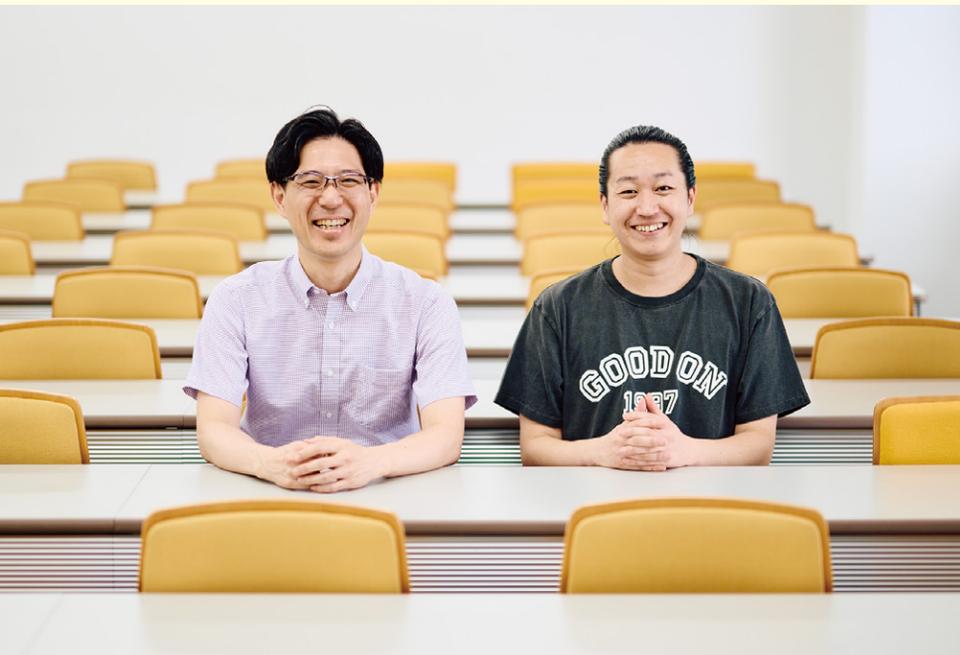
伊東 貢さん



伊藤裕才さん



食料栄養学科 教授



共立女子大学

「女性の自立と自活」を建学の精神に、明治19(1886)年に創立。自然科学や社会科学、人文科学系の学部の中に医療・芸術・メディア・建築デザインなどが含まれる“小さな総合大学”としてきめ細やかな教育が特徴。東京駅から徒歩で通える都市型大学でもある。

東京都千代田区一ツ橋2-2-1

<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/>

The WILLOW

男性の“通いやすい”を追求した神保町のメンズヘアサロン。男性特有の髪の毛や頭皮の悩みにも、メンズサロンならではの視点で解決。経験豊富な美容師の丁寧なカウンセリングと技術で、洗練されたヘアスタイルに仕上げる。東京都千代田区神田神保町1-19すずらん通りT&Aビル2F 11:00-21:00(土日祝は20:00まで)

<https://the-willow.jp/>



10年前にこちらの大学に赴任してきました。食料栄養学科の教員として教えているのですが、ゼミの生徒のひとりが、伊東さんが前に働いていた美容室でアルバイトをしていたことがきっかけで距離が縮まって。安心感があるので、毎回、結局伊東さんに任せてしまう(笑)。本が好きだったので学生時代はこのエリアに馴染みがあって、久しぶりに戻ってきましたけど、古いものと新しいものが混ざりあって、やっぱりいいまちですね。伊東さんみたいに素敵な人もいて。(伊藤さん)

食品衛生や食品化学を教える伊藤さんの研究室には、将来、食品業界への就職や管理栄養士をめざす学生が多く在籍。



神保町で美容室をやっていると、いろんな職業のお客さんがいて面白いんです。伊藤さんもその1人。大学の教授さんとお会いするきっかけなんて普通ないじゃないですか(笑)。8年ぐらい前から2ヶ月に1回ぐらい来てくれていて。しかも、僕が勤めていた前の美容室時代からずっと。最初はこっちも緊張していたんですが、お互いにお酒が好きなのでお酒の話なんかするうちに打ち解けて。この企画を通じて、伊藤さんとまた距離が近くなって、今度初めて一緒に飲みに行くことになったんですよ。(伊東さん)

PHOTO WALL Vol 16

テラススクエア
フォトエキシビジョン

2023年8月21日(月)～2023年11月17日(金)
開館時間8:00-20:00(最終日のみ19:00まで)
休館日 土日祝 入場無料

テラススクエアでは、パブリックスペースを活用した
フォトエキシビジョンを開催中。
気鋭の風景写真家が切り取るロサンゼルスとは。



TERRACE SQUARE PHOTO EXHIBITION #23

ANGELS POINT

テラススクエアでの展示となる「ANGELS POINT」は、1886年に整備されたロサンゼルスで最も古い国立公園「エリジアン・パーク」にあるエンジェルズポイントで3年間にわたり大判カメラで撮影されたシリーズです。
小高い丘の上に植えられたパームツリーがカリフォ

ルニアらしい風景をつくりだす、人々が自由に気ままに思いおもいに集う楽園のような場所でありながら、イアネエロならではのまなざしで独自の感傷的な風景を写し出している写真です。
ぜひご覧ください。



テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22
1F エントランスロビー

Adam Ianniello アダム・イアネエロ

1987年生まれ。ニューヨークのブルックリンで生まれ育ち、バルーク大学と視覚芸術学校で美術史と写真を学ぶ。現在カリフォルニア州ロサンゼルスに拠点を置くアメリカの風景写真家。彼の写真は、American Chordata、C4 Journal、Def Greif、The Washington Post、Vogueなど、さまざまな出版物に掲載され、ロサンゼルス、ニューヨーク、ロンドンで広く展示。ロンドンの出版社「GOST BOOKS」より出版された「ANGELS POINT」(2022年)が、フランスの出版物にまつわる権威あるアワード「Rencontres d'Arles 2023 Author Book Award」の最終選考に残る。

EVENT INFORMATION 2023 Autumn

venue KANDA SQUARE HALL period 2023/10/13Fri - 10/22Sun

event TAKEO PAPER SHOW 2023「PACKAGING — 機能と笑い」

紙の専門商社 竹尾が数年に一度、豊かな紙の世界を届ける竹尾ペーパーショウ。

2023年10月に、5年振りの開催が決定しました。

主催：株式会社竹尾 総合プロデューサー：竹尾 桐 企画・構成：原 研哉+日本デザインセンター 原デザイン研究所



2023年10月13日(金)～10月22日(日)
11:00-19:30(最終入場19:00)最終日の22日(日)のみ 11:00-16:00(最終入場15:30)
会場 KANDA SQUARE HALL 東京都千代田区神田錦町 2-2-1 神田スクエア 2F・3F
<https://www.kanda-square.com/>
入場 事前予約制・無料。※プラットフォーム「ArtSticker」にて予約
特設サイト <https://www.takeopapershow.com/>

